

## グループワークにおける意見交換のルール

### ①時間を気にして進めましょう

参加者全員が発言できるように、1回の発言時間が長くなりすぎないように気をつけ、簡潔な発言になるよう心がけましょう。

### ②お互いの発言を尊重しましょう

お互いの発言を尊重して、他の人の発言を否定するのではなく、疑問点や理解できない点があれば質問するように心がけましょう。

また、特定の個人や団体などを誹謗中傷するような発言は控えましょう。

### ③スムーズな進行に協力しましょう

意見交換の間は、進行役（ファシリテーター）の指示に従い、スムーズな進行ができるよう協力しましょう。

### ④活発な意見交換のために遠慮せずに発言しましょう

活発な意見交換ができるように、思いついた意見は遠慮せず、積極的に発言するようにしましょう。

### ⑤テーマと関係のない発言は避けましょう

ただし、時間が限られていますので、意見交換のテーマと関係のない発言は避けましょう。



## NPO と行政の協働についての基本姿勢（意見交換）

あいち協働ルールブック 2004 ～NPO と行政の協働促進に向けて～ より

### （行政と NPO 共通の基本姿勢）

- ・ 行政と NPO は、双方の良さ、得意分野を活かすために、お互いの立場の違いを尊重する。
- ・ 地域において取組みが必要な課題やテーマについて、共通認識が持てるように、行政、NPO の双方が努める。  
また、共通認識が持てないまでも、双方の接点が見出せるように努力する。

### （行政の基本姿勢）

- ・ 行政は、幅広い部局において、NPO との情報交換・意見交換を継続的に行うよう努める。
- ・ 行政は、行政内部で横断的に、地域の課題や NPO に関する情報交換や意見交換を行うことによって、組織横断的な課題やテーマに対して協働に取り組むよう努める。

### （NPO の基本姿勢）

- ・ NPO は行政への一方的な批判や要求を行うだけにとどまらず、課題解決に向けて建設的な意見交換や提言を行うよう努める。
- ・ 中間支援団体や中間支援機能をもった NPO は、現場の情報をできる限り収集しながら各分野の NPO の意見表明を支援するよう努める。

## あいち住まい・まちづくりマスタープラン見直しに向けた

# 第1回 NPO等意見交換会

### テーマ：公的住宅と住宅セーフティネットについて

13:30 開会  
あいさつ

13:35 NPO等意見交換会の開催について

13:40 本日のテーマについて

..... ～第1部～ .....

13:50 グループワーク(テーブルごと)

- 自己紹介(所属、興味あるテーマなど)
- 検討項目決め
- 意見交換
  - ①テーマに関する現状認識、課題(40分)
  - ②テーマに関する提案(40分)

15:20 各グループの成果発表準備

15:30 休憩

..... ～第2部～ .....

15:40 グループ発表と有識者等との意見交換  
(第2回公営住宅・セーフティネット部会)

- 各グループ発表(各5分)
- 発表についての意見交換(各15分)
- 全体について意見交換(10分)

16:50 講評

17:00 閉会

## 本日の意見交換会のテーマとグループワークでの主な検討項目

### 本日のテーマ

#### 公的住宅と住宅セーフティネットについて

下記検討項目を中心に、現状課題の認識、提案等について意見交換します。  
なお、「地域コミュニティの再生」や「住まい・まちづくりの各主体の担う役割」の観点も含めるものとします。

### 検討項目①

#### 公営住宅への入居者の考え方とコミュニティバランス

- コミュニティバランスを再生するには、一般世帯や子育て世帯等を優先するべきではないか。
- より困窮する世帯の入居を優先すべきではないか。
- 公営住宅を整備するよりは、民間賃貸住宅を活用する方法を考えるべきではないか。 等

### 検討項目②

#### 民間賃貸住宅を活用したセーフティネット

- 高齢者や子育て世帯等の住宅確保要配慮者が民間賃貸住宅へ円滑に入居するためには、どのような取り組みが必要か。
- 高齢者や子育て世帯等の住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への入居支援にあたり、NPOと行政がうまく連携した取り組みができないか。 等

### 検討項目③

#### セーフティネットにおける公的住宅事業者の連携・役割分担

- 公営住宅、公社住宅、UR賃貸住宅等が連携したセーフティネットの構築が必要ではないか。 等

MEMO